入選（低学年の部）

大すき、おじいちゃん

京都府　ノートルダム学院小学校 三年
松本（まつもと） 悠愛（ゆめ）

おじいちゃん、私はおじいちゃんが作ってくれたアルバムが大すきだよ。お兄ちゃんが生まれてから作り始めて、今は第二十かんだね。私は第三かんから登場するね。むかしのアルバムを見たら、こんなに小さかったんだな、おじいちゃんはいつも私をやさしく見守ってくれていたんだなと思います。

ゼロ才の時は外へ出ると泣きやむので、よくベビーカーに乗せて公園につれていってくれたんだね。歩けるようになったら、なかなか家に入らなくて、仕方なくお外にもう一ど遊びにつれていってくれたんだね。部屋の中にあるブランコを、もう一回、もう一回と何どもリクエストしたり、ほ育園に行く時、なんでも自分が、自分が、といってこまらせたりしたんだね。

アルバムを見ていると、いろんな所につれていってくれたこともわかるよ。動物園、植物園、遊園地、プール。おじいちゃんの畑のイチゴがりやジャガイモほり。私はいつも大よろこびしているね。

おじいちゃんは、作るのがとく意だから、おじいちゃんの作品もいっぱいのっているね。小さい木のつくえといすやピンクのひきだし。おぼえてなかったけど紙や木で色んなおもちゃを作ってくれてたんだね。さい近では、一りん車の練習用の手すりを家の外のかべに作ってくれたね。そのおかげで一りん車に乗ることができるようになったよ。手うちうどんをしてくれたり、流しソーメンをしてくれたり、何でもできるおじいちゃんでよかったよ。

写真の一まい一まいにいろんなことを書いてくれていて、読んでいると楽しくなるよ。私が四才のころ、びよう室ごっこをしたときの写真には、「きれいにしてくれてありがとう。」、ホットケーキを作っている写真では、「やけどをしないようにね。」と書いてくれていたね。いつもやさしい言葉をありがとう。

アルバムのさい後のページには、いつも私とお兄ちゃんに手紙を書いてくれてるね。漢字がむずかしかったけど、だんだん読めるようになってきたよ。第十かんと第十一かんには、じいちゃんの子供のころのことを書いていたね。せんそうがあって学校に行くのもきけんだったこと、防空ごうのこと、食べ物が少なくて大へんだったことを知ってびっくりしたよ。「今の日本は平和でゆたかですが、世界の中では今でもいろんな所でせんそうしており、食べる物がなくて死んでいく子供がいっぱいいます。早く世界が平和になるといいですね。」というおじいちゃんのねがいを読んだよ。私も本当にそうだなと思ったよ。私が大人になった時、おじいちゃんのねがいがかなって世界が平和になっているといいね。

大すきなおじいちゃん、これからもうんと長生きして、またいっぱい写真をとって、アルバムをどんどん作ってね。いつもありがとう。